

大森赤十字病院 耳鼻咽喉科では、常勤医2名で外来・手術を行っております。

急性感音難聴・顔面神経麻痺・めまい・急性炎症(急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍など)の入院加療を行っております。

外科的手術としては特に鼻や耳の内視鏡手術(内視鏡下鼻・副鼻腔手術、内視鏡下耳科手術)に力を入れています。入院期間は鼻の手術で4-5日程度、耳の手術で3日程度と短期間で、低侵襲な手術となっております。

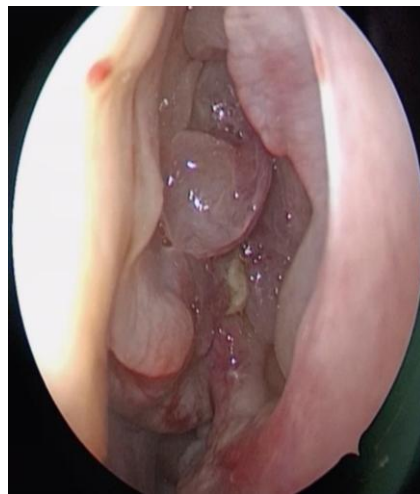
当院での診断・治療が困難な疾患に関しては、東邦大学医療センター大森病院、東京慈恵会医科大学附属病院などと連携をとっております。

慢性副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症の治療

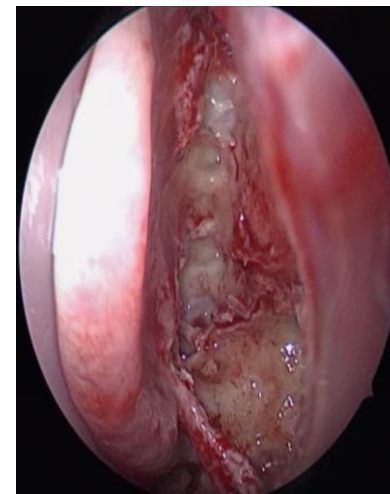
慢性副鼻腔炎の治療は、適切な診断後にまずは保存的加療(内服薬、鼻噴霧ステロイド等)を行い、改善に乏しく症状が残る患者様や、再発を繰り返す患者様に対しては手術加療を勧めます。

鼻中隔彎曲症に伴う鼻閉症状に関しては、内服薬や鼻噴霧ステロイド薬が効きにくい場合が多いため、最初から手術を勧める場合も多いです。

手術は全身麻酔下(高齢など全身麻酔のリスクがある方は局所麻酔下)で行い、全て内視鏡で行います。



副鼻腔に鼻茸(ポリープ)を認める



内視鏡手術でポリープを除去

慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎の治療

鼓膜穿孔のある慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎に対して、以前は顕微鏡を用いて手術を行っておりましたが、近年は内視鏡下に手術を行う事が多くなってきております。全ての患者様に適応になる訳ではありませんが、より低侵襲な内視鏡下耳科手術を積極的に行う方針としております。



鼓膜に穿孔を認める



内視鏡手術 2ヶ月後 穿孔は認めない